

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析及び結果

我孫子市立布佐小学校

「教科」に関する調査について

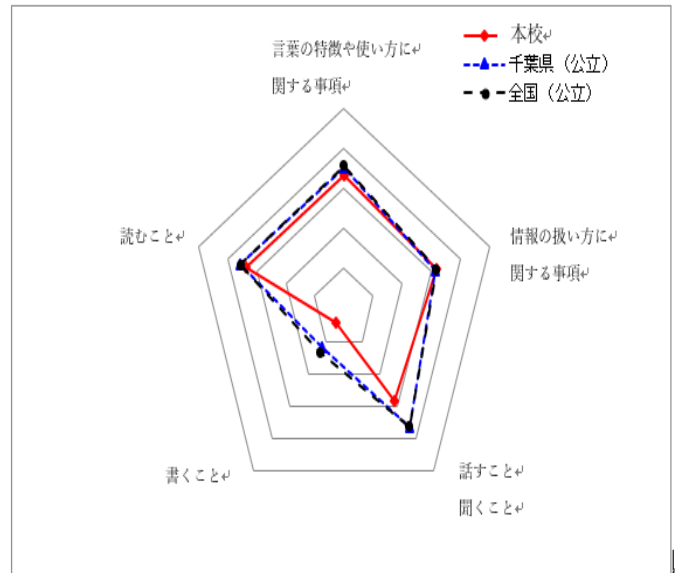
国語

○知識及び技能の「情報の扱い方に関する事項」については 全国平均を上回っていた。また、知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」思考力、判断力、表現力等の「読むこと」で平均程度の水準であった。

△思考力、判断力、表現力等の「話すこと 聞くこと」「書くこと」は、平均を大きく下回っており課題となっている。特に、「書くこと」では、「文章を読んで理解し

たことに基づいて、自分の考えをまとめること」「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」等に関しての苦手意識が見られた。

学習指導要領の領域の平均正答率



☆調査結果からの今後の取組について☆

◎資料を読んだり話を聞いたりしながら、内容を捉え、自分の考えをまとめる

- ・学習場面で、「伝える」「発表する」等の対話的活動を意図的に設ける。
- ・話し手の目的や意図を考えて聞き、要旨を理解する力をつける。
- ・読書の時間を確保し、豊かな表現力や語彙力を身に付ける。
- ・ICT を活用しながら、基礎基本の学習にも継続して取り組む。

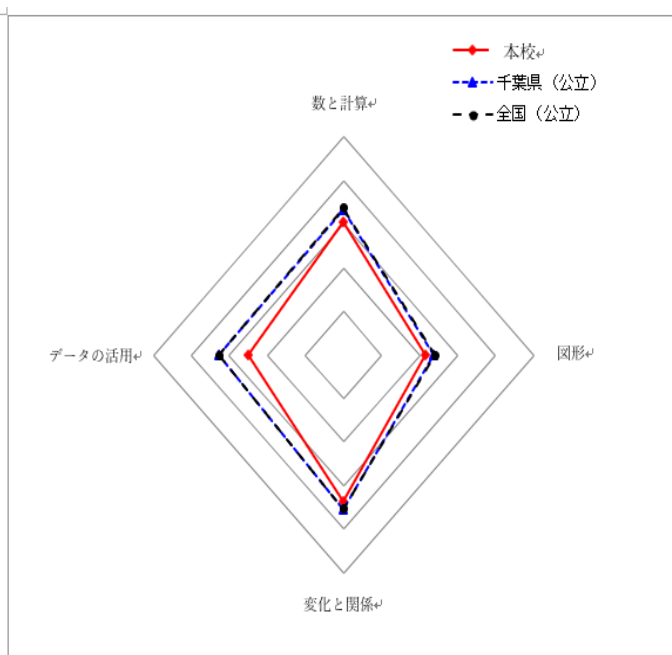
算数

○全体の平均正答率では、全国平均よりやや下回っているが、ほぼ同程度の項目もあった。基礎基本は概ねできていると考えられる。

△「データの活用」の領域では、平均を大きく下回っており課題となっている。また、記述式の問題につまずく傾向が見られた。「データの活用」では、「【以上】の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること」、記述式では、「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するため

に、表の中の適切な数の組を用いること」「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる」等に苦手意識が見られた。

学習指導要領の領域の平均正答率



☆調査結果からの今後の取組について☆

◎示された場面において、目的にあった処理の仕方を考え、説明することができる

- 目的に応じて、必要な資料を収集し、整理する活動を取り入れる。
- 類題に取り組みながら、文章問題の意図を明確に掴む。
- 学習場面で、「伝える」「発表する」等の対話的活動を意図的に設ける。
- ICT を活用しながら、基礎基本の学習にも継続して取り組む。

「自尊意識・生活習慣」に関する調査について

～児童に対する質問紙調査結果より～

○教科への関心・意欲・態度

- ・「国語への関心」は全国の調査結果とほぼ同程度であった。国語の授業が「よくわかる」と回答した児童は半数を超え、「わからない」と回答した児童は少なかった。
- ・「算数への関心」は全国の調査結果とほぼ同程度であった。「算数の勉強は大切」と回答した児童が9割を超え、全国の調査結果を上回っていた。

○家庭学習や生活習慣

- ・家庭学習時間は、平日および休日ともに全国の調査結果と比べてやや少ない傾向であった。
- ・決まった時刻に寝たり、朝食を食べたりする習慣が全国の調査結果と比べてやや低い。

○規範意識や自己有用感

- ・「人の役に立つ人間になりたい」や「人が困っている時に進んで助ける」と回答した児童が全国の調査結果より多かった。
- ・「自分には良いところがある」と回答した児童は、全国の調査結果と比べやや低い傾向があった。「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童は、全国の調査結果より多かった。